

番号	8	県別	広島	事業場所	毘沙門台外
実施団体等	毘沙門台学区社会福祉協議会			代表者	木村 忠信
事業名	安佐南地域の民話を紙芝居にして後世に伝承する事業				
事業目的	安佐南区近郊の民話を広く住民に伝承し、子どもから高齢者までが地域の歴史や文化を知り、地域に誇りと愛着を持ってもらう取り組み。また、安佐南「地域の民話集」を配布し、紙芝居の魅力向上に努める。				
事業概要	<p>①民話に親しんでもうために紙芝居23話から抜粋し、「地域の民話集」の発刊、「紙芝居の電子化」、「蛍光絵具活用の紙芝居」、の原画作成に取り組む。</p> <p>②新しい民話の作成には、安古市高校美術部と連携して行う。</p> <p>③紙芝居の実施回数15回、参加者938人。</p>				
事業効果	<p>①紙芝居の上演体制が整い、小人数、多数のいずれでも楽しんでもらえる公演活動ができた。</p> <p>②安古市高校美術部の先生、生徒が関心を持たれ、共同作業で「蛍光絵具活用の紙芝居」1作を完成させることができた。</p> <p>③地域の歴史文化を伝承してゆくことは大切であり、この活動が地域の連携づくりの良い切っ掛けとなった。</p>				
活動状況	<div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">紙芝居の実施</div>				